

H22年度医学科6年生、看護学科4年生が選んだ 教員ベスト10

本学では教育向上の一環として、学生による授業評価を全科目において行っていますが、最終学年の学生には、総合的に最もインパクトを与えた教員を推薦してもらっています。以下は、H22年度のベスト10の先生方です。知識や技能以上に学生に伝わる「何か」と、それを伝える「技」を、他の教員が共有できる機会を、より充実していきたいと思えます。
(小田康友)

	医学教育分野	医学科臨床実習分野	看護教育分野
1位	出原 賢治	森田 茂樹	幸松 美智子
2位	埴原 恒彦	三砂 範幸	齊藤 ひさ子
3位	瀬原 嗣尚	松島 俊夫	古賀 明美
4位	城 圭一郎	木村 晋也	新地 浩一 今村 恭子
5位	宮本 比呂志	倉富 勇一郎	
6位	増子 貞彦	鶴和 幹浩	藤田 君支 松藤 彩
7位	齊場 三十四	光岡 正浩	
8位	熊本 栄一	野出 孝一	有吉 浩美 村久保 雅孝
9位	池田 義孝 池田 豊子 酒見 隆信	成澤 寛	
10位		岡田 竜一郎	

サークル活動における「行事届(コンパ用)」について

平成22年3月に起きた本庄地区ラグビー部員の飲酒死亡事故後、大学はHP及びマスコミを通し教職員一丸となって再発防止に取り組むことを誓いました。また、ご遺族から再発防止策を強く求められています。学長は報道発表において再発防止策の一つとして届出制等の措置を講じる約束をされています。これらの点を勘案し、今般、「行事届(コンパ用)」が作成されました。

この「行事届(コンパ用)」を各サークルが届け出る制度の主たる趣旨は、再発防止策の一つであるとともに、行事を届け出ることにより、「節度ある飲酒をする」ことを学生自ら社会的意識を持ってもらうことにあります。

サークル代表の学生の方は、新入生歓迎や送別会などサークルの公式行事的なコンパを開催する際は学生サービス課に届け出てください。
(学生サービス課)

看護職の就職状況について

看護師・助産師・保健師国家試験を目前に控え、4年生の皆さんは猛勉強中のことと思います。例年のことですが、インフルエンザが流行していますので、健康管理にはこれまで以上に気を配って、万全の体調で試験に臨みましょう。

今年度の看護学科の就職状況についてですが、卒業予定者68名のうち、進学1名を除いて、概ね就職が内定しています。看護師としての就職は、本学の医学部附属病院が21名と最も多く、他に関東や福岡の様々な病院に就職予定です。例年に比べ大学病院への就職が目立っており、多くの卒業生が先端医療を担う臨床現場で活躍してくれそうです。助産師での就職も6名が九州や関東の病院に内定しています。保健師での就職は厳しい状況が続いていますが、今年は保健師としての採用は9名で、保健所や市町村などの行政機関の他、病院の保健師や企業で産業保健師として就職予定です。本学を卒業後は、様々な医療機関や地域で貢献してくれるものと期待しています。看護学科卒業生の就職は他学部の状況に比べると恵まれた環境にありますが、在学生の皆さんも、専門職としてのキャリア設計を考えながら、希望に合った就職を目指して活動してください。
(藤田君支)

教育広報部会

小田康友、池田豊子、市場正良、吉田和代、江村正、藤田君支、本間治

ご意見をお待ちしています (oday@cc.saga-u.ac.jp)

